

「コグニフォトベース」工場向け機能 1年間で3,500拠点導入

2026年10月30日

コグニビジョン株式会社

コグニビジョン株式会社（代表取締役社長：安藤 維康）は、自動車修理工場向け画像伝送サービス「コグニフォトベース」において、2025年11月に提供を開始した保険外修理案件（有償）の導入拠点数が、全国で3,500拠点を突破したことをお知らせします。



本機能は、保険修理に加え、自費修理（保険外修理案件）についても画像や関連情報を同一システム上で管理できるものです。修理案件ごとの画像・書類をまとめて保管することで、修理工場における情報管理や事務作業の効率化を支援します。

近年、車体整備業界では、修理作業の内容を記録・保存し、必要に応じて説明できる体制の整備が重視されています。本機能では、着工前・作業中・完成後などの工程ごとに画像を整理・保存でき、修理内容の確認や説明に活用できます。

【新機能の主な内容】

・保険修理・自費修理の一元管理

保険修理と自費修理の画像・関連情報を、コグニフォトベース上でまとめて管理できます。

・工程別の画像管理

修理前、修理中、修理後など、修理工程に応じて画像を整理・保管できます。

・案件データの保管

修理に関する情報や画像を保存し、後日の確認や記録の参照に利用できます。

報道関係各位

【今後の展開】

当社は、2026 年度中に本機能の導入拠点数が 4,000 拠点に達することを見込んでいます。今後も修理工場における業務や情報管理の実態を踏まえ、サービスの改善・機能拡充に取り組んでまいります。

以上

お問い合わせ先

コグニビジョン株式会社
広報担当
cgv_pr@cognivision.jp